

付託された議案・請願等を審査 委員会の

市議会には、4つの常任委員会が設置されており、本会議で付託された議案・請願等、各所管事項について詳細にわたり審査を行っています。その中から、各委員会の主な審査状況をお知らせします。

建設

9月13日・14日・21日に議案6件、認定1件の審査を行いました。

委員 例年と比較して、積立金はどうか。

環境政策課長 2015年度の積立額については4億6800万円で、ほぼ変わりはないと認識しています。

委員 手数料の袋の売り上

環境政策課長 2016年度の積立金は4億203万4千円、こちらは既に積み立てています。ここで指定収集袋の収入、及びそれにかかわる経費が確定しましたので、その差額分の今回約8千万円、この分を追加で積み立てるといふことです。

廃棄物減量再資源化等推進整備基金積立金

委員 ごみ処理手数料の袋の売り上げの積み立てということだが、前年度の積立分でよいのか。金額は例年より少ないと思うがこの費用の内容は

北自由通路の築造、それに伴って改札を自由通路側に集約しますので、その移設設置の事業費を計上しているものです。北口ロータリーの関係で、ご要望等が出ていますがこの事業費には含まれていません。

年度中に出されたということではありません。

南町田駅南北自由通路整備事業

委員 北口広場の整備の問題にもかかわると思うが、それも含まれた予算でよいのか。

道路政策課長 南町田の南

でも前年度と同じぐらいか。
環境政策課長 2015年
度が7億3千万円、今回は7
億7千万円というところで
この販売については販売店
在庫等もありますので、それ
が全てごみ袋として2016

**決算審査（建設）
認定すべきものと決定**

- 自然エネルギー利用機器等設置補助金については、地球温暖化防止を推進していくうえで、重要な取り組みであり、市民ニーズも高いことから再度復活を検討されたい。
- 町田市行政で設置している太陽光発電の活用状況を把握できるようにされたい。
- 燃料電池自動車M I R A I においては、理事者の公用車としての積極的な利用を促進するなど、活用を図られたい。
- 市民一人一日あたりのごみの排出量は、2016年度714g となった。2020年度の目標値724g をすでに達成しており、目標値の検討を早急 to 実施されたい。
- 老朽化した道路橋梁維持補修については、安全性を確保するため、優先的事業として進められたい。
- 防災の観点からも狹隘道路も含め、更なる無電柱化の推進に努められたい。
- 街路灯のL E D 化については、できるだけ早急に進められたい。
- 放置自転車等対策事業では、創意工夫をされていることについては評価するところであるものの、放置自転車対策に充当される費用8,629万円を市民に広く周知し、市民の協力を得られるよう努められたい。
- 玉ちゃんバス等、地域コミュニティバス運行事業においては、利用状況調査を行い、混雑して乗れない人がいないよう努められたい。
- 地域コミュニティバスの運行にあたっては、道路部とも連携して道路状況の改善を図り、住民の要望するルートの実現に努力されたい。
- 路線バス利用促進事業においては、交通空白地区の移動環境向上のために、地域住民の要望に丁寧に答え、交通空白地区解消に努められたい。
- 団地再生に向けた取り組みでは、今後もU R 都市機構やJ K K 東京との連携をさらに深められたい。

など計35件の意見を附帯決議として付しました。

文教社会

9月13日・14日・21日に議案7件、請願7件、認定1件の審査を行いました。

ら図書館の検討をしていき
たいと思っています。

委員 全体の中で図書館を
どういう方にしていくか
を、今考えている状況なか
ら、**図書館長** 情報を収集して
いる段階であり、情報を集め

づくりの關係で鶴川団地の周辺の計画が今動いていることは承知しています。ただし、その辺について今後町田市5カ年計画17―21で図書館のあり方等を検討していく中で、鶴川団地、あるいはその周辺の公共空間のあり方については、関係部署とも相談しながら

鶴川図書館を鶴川団地センター・商店街の中に存続させることを求める請願委員 現在、公共空間について鶴川団地に関してはどのように考えているのか。

図書館長 いろいろなまち

きて40年以上たっており、鶴川駅前図書館ができるまで、小さい図書館でありながら鶴川地域の資料、情報提供の基地として長年活動して、また地域の方にも親しまれてきたのかと思っています。

あり方、見直しは本当に着手したところですから、鶴川図書館がどうなるということは何ら決まっていないということになります。

委員 これまで鶴川図書館が担い、果たしてきた役割をどのように認識しているか。

図書館長 鶴川図書館がで

終わったところで調査、分析そこから案を考えていくことになりまますので、現段階では何も決まっています。

委員 検討の結果、存続という可能性がゼロではないという受け取り方でいいのか。

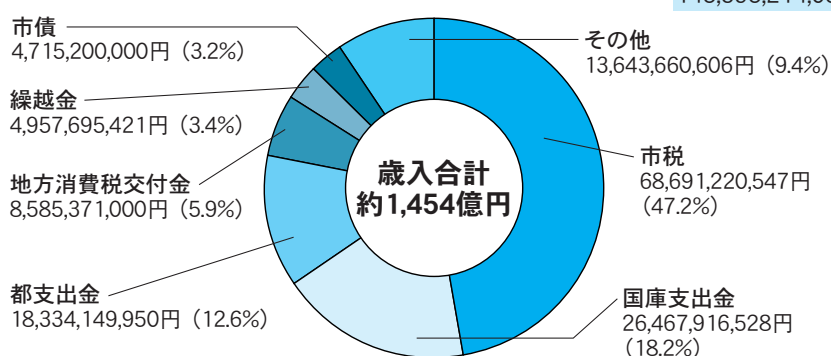
図書館長 現段階において、

**決算審査（文教社会）
認定すべきものと決定**

- 小中学校の施設維持補修費用確保のため、国庫補助採択へ、国に強く働きかけられたい。
- 振り込め詐欺防止策の更なる推進と、その効果の検証を進められたい。
- 民間も含め、常設の赤ちゃん・ふらっと（授乳室）の更なる整備と、災害時にも必要となる「授乳・おむつ替え用テント」の周知・推進に努められたい。
- 新たなまちともについて、運営協議会の負担をできるだけ軽減できるよう工夫されたい。
- 消費生活センター運営協議会の取り組みを積極的にPRし、市民生活向上への啓発活動を更に充実されたい。
- 学校教育部においては、公立小中学校長会など各種団体から出された要望について、教育環境充実のため、できる限りの対応をされたい。
- 町田第一中学校改築事業において、体育の授業等を行う校庭の代替地として、「町田シバヒロ」も使用できるようにされたい。
- 喫食率が低い中学校給食の今後のあり方について、学校給食問題協議会で十分に検討されたい。
- 教育相談事業については、相談件数が増加傾向にあることから、ニーズの高い事業といえる。引き続き、人員配置、相談スペースの確保など環境の拡充に努められたい。
- 自然休暇村の宿泊施設利用者数が減少傾向にある。主な理由として、市内小中学校の移動教室の利用減があげられる。利用できない理由に対しての対策を検討されたい。
- 文学館事業について、開館以来最高の展覧会観覧者数を達成できたことを高く評価する。引き続き、柔軟な発想で観覧者数の確保に努められたい。
- 国際版画美術館の総来館者数を増やす取り組みについては、外国人観光客など新たなターゲットも視野に入れ積極的に進められたい。

など計26件の意見を附帯決議として付しました。

平成28年度 歳入決算額の内訳(一般会計)



平成28年度 歳出決算額の内訳(一般会計)

